



# LET'S PLAY Indiacca

www.japan-indiacca.com

# 31

2008.11

〒101-0061  
東京都千代田区三崎町2-20-7  
水道橋西口会館内  
TEL.03-3512-2801  
FAX.03-3512-2802  
E-mail: JIA@japan-indiacca.com

Japan Indiacca Association ● (社)日本インディアカ協会

## 「'08 Japan Friendship Indiacca League Match」 開かれる

第14回「ジャパンフрендシップ インディアカ リーグ マッチ」は、7月6日に「東京体育館」で開催された。例年「全日本トーナメント」と同じ会場で開催されていましたが、今年は北京オリンピック開催のために会場が確保できず、単独の開催になりました。

この大会は、交流・親睦を目的に121チームを各部門8つのグループに分け同じグループが協力し大会を創り上げていく大会です。8つのグループに分けられたカラーTシャツをユニフォームに競技を行い、対戦毎に集計をして優勝グループを決定する方式で毎年行っています。残念ながら今年グループに貢献出来なかった個人チームにも「優勝グループ」になれる感激が味わえる大会方式に、同じカラーチームに大きな声で応援する光景がありました。表彰式では、各コートでの優秀なチームにも特別賞が贈られ満足感のある楽しい交流大会で大きな歓声が上がっておりました。今回、初めて「インターネットライブ」中継で全国の愛好者に試合の様を見ていただきました。なお、現在もダイジェスト版を配信中です。今年の結果は「ロイヤルブルー」が優勝、準優勝には「サックス」グループになりました。

ポイント及び構成チームは以下のとおりです。

【優勝】	ロイヤルブルー	237ポイント
【準優勝】	サックス	222ポイント
【第3位】	ライム	209ポイント
【第4位】	オレンジ	207ポイント
【第5位】	イエロー	202ポイント
【第6位】	レッド	196ポイント
【第7位】	シルバーグレー	191ポイント
【第8位】	ライトピンク	185ポイント

### 特別賞

- ・あじさい (埼玉県)
- ・シャトルランナーズ (埼玉県)
- ・メイビー (埼玉県)
- ・越後笹だんご (新潟県)
- ・レッドシャトルズ (千葉県)
- ・ピンクパンサー (埼玉県)
- ・MINORIスマイルA (茨城県)

### 優勝チーム

#### 【一般女子】

- ・バイオレット (神奈川県) ・メイビー (埼玉県) ・のびのびレディース (千葉県)

#### 【一般男子】

- ・前橋倶楽部 (群馬県) ・レッドウイングス (千葉県)

#### 【一般混合】

- ・にくきん (千葉県) ・ピンクパンサー (埼玉県) ・MIC (東京都) ・I & I (茨城県)

#### 【シニア女子】

- ・マーガレット (栃木県) ・レッドロケット (東京都) ・草加シャトルクラブ (埼玉県) ・バイオレット (神奈川県)

#### 【シニア混合】

- ・越後笹だんご (新潟) ・石川げんき会 (茨城県) ・時遊クラブ (栃木県)





# 「第4回全日本インディアカトーナメント」愛知県で開催 「天元」(一般混合の部) 4連覇を達成

去る8月3日、全国各ブロック(北海道・東北、関東甲信越、北陸・東海、関西、中国・四国、九州・沖縄の6ブロック)から選ばれたチームによる「第4回全日本インディアカトーナメント」が例年開催している東京体育館から離れ愛知県体育館で開催された。

大会は地元北陸・東海ブロック協議会や愛知県インディアカ協会の方々のご努力でスムーズな運営が図られ、各チームが熱い試合を繰り広げることが出来ました。この熱戦の様子は、「インターネットライブ」により全国のインディアカ愛好者に生中継されました。特に今回は、一般混合の部で、関東甲信越ブロック代表「天元(埼玉県)」チームが、熱戦の末4連覇を達成しました。また、男子の部は、例年入賞していた関東・甲信越ブロックは入賞を逃し、北海道・東北ブロックが優勝しました。

今大会の上位入賞チームは、2010年スイスで開催されます「4rd Indica World Championships」の日本代表としての出場権が得られます。



一般女子 アスカ



一般男子 輝楽利



一般混合 天元



シニア女子 サウンド



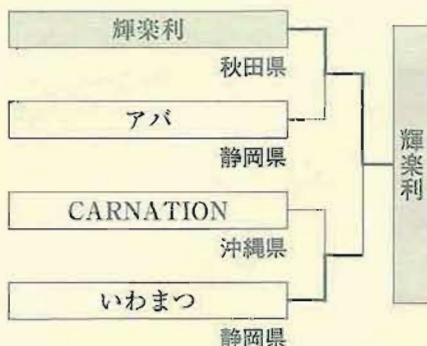
シニア混合 フレッシュクラブ

## 〈結果一覧〉

	一般女子の部	一般男子の部	一般混合の部	シニア女子の部	シニア混合の部
優勝	アスカ (愛知県)	輝楽利 (秋田県)	天元(埼玉県)	サウンド (岐阜県)	フレッシュクラブ (千葉県)
準優勝	ザ・イーゼ (埼玉県)	いわまつ (静岡県)	FREEDOM (福島県)	WOODS インディアカ クラブ(愛知県)	ファースト (千葉県)
第3位	レッドシャトルズ 小町 (千葉県)	CARNATION (沖縄県)	ゴロピカリ (群馬県)	吉田方花子 (愛知県)	WOODS インディア カクラブ(愛知県)
		アバ (静岡県)		すずらん (千葉県)	ティ・エス・シーB (岐阜県)

## 〈決勝トーナメント〉

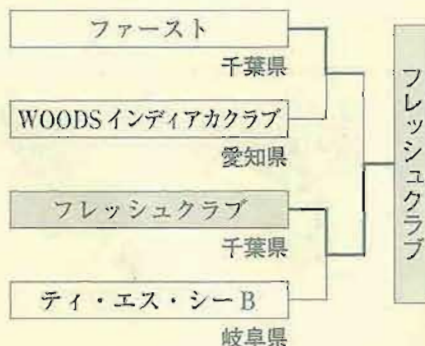
### 【男子の部】



### 【シニア女子の部】

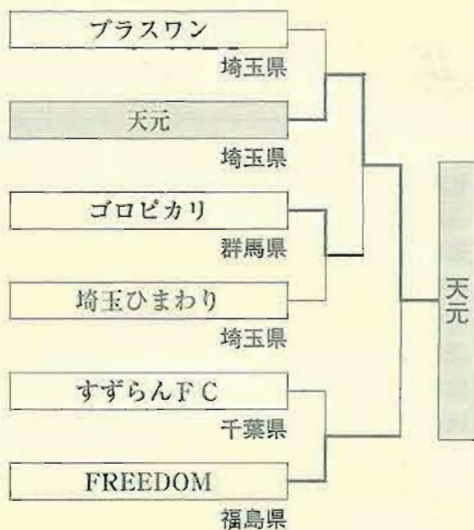


### 【シニア混合の部】





【混合の部】



【女子の部】



\*第1試合(準々決勝)終了後の組み合わせは、抽選を行います



開会式-1 (会長)



開会式-2 (選手)



選手宣誓



カップ



予選



決勝

オールジャパン インディアカ トーナメント成績表

社団法人 日本インディアカ協会

順位	第1回(H17.05.28):東京体育館	第2回(H18.06.17):東京体育館	第3回(H19.06.16):東京体育館	第4回(H20.08.03):愛知県体育館
男子 優勝	ブラックイーグルス 埼玉県	茶々丸 静岡県	栄南 愛知県	輝栄利 秋田県
男子 準優勝	KFM 千葉県	Apache 東京都	シャトルランナー 埼玉県	いわまつ 静岡県
男子 第3位	トロピアン 埼玉県	前橋倶楽部 群馬県	梅田フレンズ 神奈川県	アバ 静岡県
男子 第4位	-	牡丹山キング 新潟県	Apache 東京都	CARNATION 沖縄県
女子 優勝	びたみん 埼玉県	グーニーズ 埼玉県	ザ・イーザ 埼玉県	アスカ 愛知県
女子 準優勝	ザ・イーザ 埼玉県	アバ 静岡県	ARPC 愛知県	ザ・イーザ 埼玉県
女子 第3位	アルファ 千葉県	グリーンピース 埼玉県	レッドシャトルズ 千葉県	レッドシャトルズ小町 千葉県
女子 第4位	-	ブッチ・インディーズ 千葉県	ブッチ・インディーズ 千葉県	-
一般混合 優勝	天元 埼玉県	天元 埼玉県	天元 埼玉県	天元 埼玉県
一般混合 準優勝	プラスワン 埼玉県	プラスワン 埼玉県	GROVERS 埼玉県	FREEDOM 埼玉県
一般混合 第3位	すずらん 千葉県	福井リコー 福井県	すずらんFC 千葉県	ゴロピカリ 群馬県
一般混合 第4位	-	びたみん 埼玉県	七宝ピクトリー 石川県	-
シニア女子 優勝	ファースト 千葉県	ザ・イーザ 埼玉県	とんぼ 埼玉県	フレッシュクラブ 千葉県
シニア女子 準優勝	WOODSインディアカクラブ 愛知県	フェニックス 千葉県	ザ・イーザ 埼玉県	ファースト 千葉県
シニア女子 第3位	フェニックス 千葉県	TERAZU 愛知県	ファースト 千葉県	WOODSインディアカクラブ 愛知県
シニア女子 第4位	-	秩父クラブ 埼玉県	岐阜・ティ・エス・シー 岐阜県	ティ・エス・シーB 岐阜県
シニア男子 優勝	ブルーウイング 埼玉県	フチ・フレンズ 栃木県	WOODSインディアカクラブ 愛知県	サウンド 岐阜県
シニア男子 準優勝	フォルテシモ 千葉県	サンライズ 千葉県	すずらん 千葉県	WOODSインディアカクラブ 愛知県
シニア男子 第3位	スバルY・S 埼玉県	みたがわ卓球部 佐賀県	NSC 新潟県	吉田万花子 愛知県
シニア男子 第4位	-	WOODSインディアカクラブ 愛知県	ブルーエンジェル 埼玉県	すずらん 千葉県

第3回 Indiacca World Championships in Luxembourg 結果報告

今回の大会は、初めてルクセンブルクで開催され、ルクセンブルク、ドイツ、スイス、エストニア、日本そして初めてポーランドが参加して盛大に開催され、日本は全種目にエントリーした。

一般の部については、技術が各国とも高まりを見せ、熱戦が繰り広げられた。しかし、シニアの部については、日本は身長差に泣かされ、悔しいいっばいの大会であった。

なお、参加6カ国を対象として「フェアプレー賞」が設置され、参加全選手による投票で決定されるもので、日本

が栄えある受賞に輝いた。

〈結果〉

	優勝	準優勝	第3位
一般女子の部	ドイツ	ルクセンブルク	エストニア
一般男子の部	ルクセンブルク	ドイツ	エストニア
一般混合の部	ドイツ	エストニア	日本
シニア女子の部	ドイツ	スイス	エストニア
シニア男子の部	ドイツ	エストニア	ルクセンブルク
シニア混合の部	ドイツ	ルクセンブルク	エストニア



# 2008年度事業計画

## 【組織の整備・強化】

### 〈各ブロック協議会との連携、協力〉

- ・各ブロックで開催される会議に日本協会からも役員または委員が参加し、情報交換を密にし相互の連携を図る。地域協会の育成・援助の方策を検討し活発化を図る。

### 〈個人会員・公認審判員の拡大〉

- ・現在、全国レベル及びブロックの大会は、スポレク祭を除いてすべて日本協会の個人会員もしくは公認審判員でなければ参加できないシステムになっている。会員・審判員のメリットとして大会に参加できるということをアピールする。都道府県レベルの大会もこれに準じるよう働きかける。
- ・都道府県レベルの大会は、帯同審判制を採用し、資格の活用と拡大を図る。
- ・ブロック、全国レベルの交流大会も、主審以外は帯同審判員によって競技運営するよう試みる。会員数や、公認審判員数の関係で大会等が開催できない府県にあっては、参加費に差をつけて、会員でない選手も参加を受け付け、入会の機会をつくる。
- ・各都道府県協会が年間50名の「公認C級審判員」の養成を目標に掲げ、その達成に努力する。
- ・「組織強化育成3カ年計画」に基づき、モデル支援協議会を指定し、計画的に公認審判員を養成していく。

## 【理事会・総会の開催】

- ・2008年度第1回理事会（2008年5月）
- ・2008年度第1回総会（2008年5月）
- ・2008年度第2回理事会（2009年3月）
- ・2008年度第2回総会（2009年3月）

※開催期日及び会場は未定

## 【専門委員会の開催】

### 【総務委員会】

- ・日本インディアカ協会の方策、方針の構築
- ・組織育成強化3カ年計画に関する事
- ・理事会に関する事
- ・日本協会事務局運営の充実、発展に関する事
- ・各専門委員会の調整

年2回以上開催

### 【組織委員会】

- ・個人会員、公認審判員拡大方策をつくりその推進に当たる。
- ・「公認C級審判員」認定の都道府県協会委譲を推進。
- ・都道府県インディアカ協会の育成強化。
- ・区市町村インディアカ協会の育成強化。
- ・都道府県協会基本調査の実施
- ・公認審判員の資格審査を行い、「公認C級審判員」及び「公認B級審判員」、「公認A級審判員」の認定を行う。
- ・「公認指導者制度」を構築する。

年4回開催

## 【指導・技術委員会】

- ・指導技術の研究（指導法）の確立。
- ・基礎技術、応用技術の研究。
- ・審判技術の研究（審判法の確立）。
- ・競技運営法の確立。
- ・「公認B級審判員認定講習会」、「公認A級審判員認定講習会」、「公認B級審判員研修会」、「公認A級審判員研修会」、「認定員研修会」、「認定員養成講習会」の企画、運営。
- ・公認審判員制度の改定
- ・公認審判員認定筆記試験問題の作成及び実技試験要領の作成。
- ・カリキュラムの研究と改定。
- ・競技規則の改定
- ・国際審判員の推薦

年4回開催

## 【事業委員会】

- ・全国レベルの大会の企画立案。
- ・「2008 ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ」（東京体育館）
- ・「第4回 全日本インディアカトーナメント」（愛知県体育館）
- ・用具の公認と公認審査会の開催。
- ・「インディアカ教本」並びに「インディアカ競技規則平成20年度版」の刊行。
- ・ジュニア世代へのアプローチ
- ・新事業の開発
- ・「インディアカ指導法」のDVD制作の検討

年4回開催

## 【広報委員会】

- ・広報、ホームページに関する事
- ・インディアカ情報の発信
- ・機関紙「Let's Play Indiacca」の編集
- ・調査研究に関する事項
- ・国際大会、イベントに関する事

年4回開催

## 【競技会の開催】

### 【各種全国大会】

- 『第14回（2008）ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ』
  - ・2008年7月6日（日）東京体育館  
128チーム（700名）
- 『第4回全日本インディアカ トーナメント』
  - ・2008年8月3日（日）愛知県体育館  
60チーム（360名）
- 『第31回 全国インディアカ大会』
  - ・2008年9月14日（日）  
岩手県岩手郡滝沢村「滝沢総合公園体育館」  
60チーム（350名）
- 『第21回 全国スポーツ・レクリエーション祭』
  - ・2008年10月18日（土）～10月21日（火）  
滋賀県大津市「大津市皇子が公園体育館」



48チーム (480名)

〔ブロック大会〕

- [第24回 北海道・東北ブロック インディアカ大会]
  - ・ 2008年6月15日 (日)
  - 福島県喜多方市「抑切川公園体育館」
- [関東甲信越ブロック インディアカ大会]
  - ・ 2008年11月9日 (日)
  - 群馬県渋川市「子持ち社会体育館」80チーム (480名)
- [東海・北陸ブロック インディアカ大会]
  - ・ 2008年10月5日 (日)
  - 福井県大野市「大野市エキサイト広場体育施設」
  - 60チーム (360名)
- [中・四国ブロック インディアカ大会]
  - ・ 2008年6月8日 (日)
  - 香川県善通寺市「善通寺体育館」72チーム (400名)
- [九州・沖縄ブロック インディアカ大会]
  - ・ 2008年4月18日 (日)
  - 沖縄県浦添市「浦添市民体育館」60チーム (360名)
- [関西ブロック インディアカ大会]
  - ・ 2008年11月2日 (日)
  - 堺市堺区大浜北町「堺市立大浜体育館」

【公認審判員の養成】

〈新規会員登録〉 1,500名

【公認C級審判員の養成と認定】

〈公認C級審判員認定講習会の開催〉 30回 1,000名 全国各地

〈公認C級審判員認定・登録〉 1,000名

【公認B級審判員の養成と認定】

〈公認B級審判員認定講習会〉 2回 60名 全国各地

〈公認B級審判員認定・登録〉 60名

【公認A級審判員の養成と認定】

〈公認B級審判員認定講習会〉 30名

〈公認A級審判員認定・登録〉 30名

【登録更新】

〈個人会員〉 1,400名

〈公認C級審判員〉 2,800名

〈公認B級審判員〉 200名

【公認B級審判員研修会】

【認定員研修会】

【認定員養成講習会】

【国際交流事業】

〈International Indiacca Association〉

- ・ 臨時理事会

〈期間〉：2008年5月2日 (金)～3日 (土)

〈場所〉：ドイツ/マルターディンゲン

・ 定例理事会、総会の開催

〈期間〉：2008年8月18日 (月)～19日 (火)

〈場所〉：ルクセンブルク/エッテルブリュック

〈3rd Indiacca World Championships in Luxembourg〉

国際インディアカ協会による主催事業で、今年度はルクセンブルクで初めて開催される大会である。本大会は4年に1回開催されるもので、前回は我が国のつくば市で開催された。

2006年と2007年に開催された「全日本インディアカトーナメント」において上位入賞したチームが全日本代表として参加する。

・ 〈期日〉 2008年8月19日 (火)～23日 (土)

・ 〈会場〉 ルクセンブルク/エッテルブリュック

【出版物・機関紙等の発行】

- ・ 機関紙「Let's Play Indiacca」の発行 17,000万部 (年1回発行)
- ・ 「インディアカ」教本の改訂  
公認審判員制度の改定に伴いインディアカ教本を改訂する。
- ・ 2008年度版「インディアカ競技規則」の刊行
- ・ 「ジュニア用インディアカ競技規則」の刊行

【広報活動】

- ・ 日本インディアカ協会ホームページの充実  
「広報委員会」がこれを担当し、情報が停滞しないよう改善を図るとともに充実させていく。
- ・ 機関紙を官公庁、関係団体へ送付する。
- ・ 全国大会をはじめとして、各種大会をマスコミ、行政、企業、団体へPR。
- ・ マスコミ取材の対応できる資料の作成・収集、情報の整理を行う。

【用具の検定及び公認】

- ・ すでに公認している用具について、契約条件を整備し、公認料の拡大を図る。

【その他】

- ・ (社)日本インディアカ協会の充実、発展の鍵は都道府県協会組織の充実と考える。
- ・ そこで、2006年から2008年に実施している「組織育成強化3カ年計画」を確実に実施し、日本インディアカ協会、都道府県インディアカの充実発展を図っていく。

社団法人 日本インディアカ協会

2007年度事業報告

【競技会の開催】

【全国大会】

1. 「第20回全国スポーツ・レクリエーション祭」
  - ・ 2007年9月22日 (土)～9月25日 (火)
  - ・ 青森県むつ市「しもきた克雪ドーム」

・ 48チーム

2. 「第3回全日本インディアカ トーナメント」

- ・ 2007年6月16日 (土)
- ・ 東京都千代田区「東京体育館」
- ・ 70チーム

3. 「'07 ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ」





